

**令和3年度「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析)」
事後評価結果**

No.	評価課題名	研究開発 代表者名	所属機関	役職
000-001	全ゲノム解析と組織オミックス解析による心房細動の病態解明と精密医療	小室 一成	東京大学	教授

【評価コメント】

解析・登録されたデータ数は当初計画を上回っており、測定データや臨床データの収集・格納という本事業の基本部分の達成に留まらず、トランスクリプトーム解析においては、機械学習を用いたデータの紐づけや細胞分布予測等まで実施している点は付加的な成果として評価できる。細胞種特異的なオープンクロマチンパターンや non coding 領域の accessibility にまで言及し、これまでとは異なる治療・創薬標的としても興味深い結果であり、本研究開発で得られたデータを元に、心房細動発症の機序の解明、バイオマーカーの同定、既知の遺伝子の検証を進め、本研究成果をグローバルにもアピールいただき、世界をリードされることを期待する。今後、シングルセルエピゲノム解析データについての登録数の追加、及び、ATAC-seq 解析の進捗も期待する。また、営利企業を含めた第三者利用が可能となるように、進めていただきたい。